

## 原料費調整制度に基づく2026年2月検針分のガス料金について

(群馬地区)

東京ガス株式会社

## 1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。

(消費税込)			
1ヵ月のご使用量	料金表A 0～24m <sup>3</sup>	料金表B 25～500m <sup>3</sup>	料金表C 501m <sup>3</sup> ～
基本料金 (円/月)	759.00	1,296.10	7,612.30
調整単位料金 (円/m <sup>3</sup> )	150.07	128.52	115.90
(参考) 補助金適用前 調整単位料金 (円/m <sup>3</sup> )	168.07	146.52	133.90
(参考) 1月 調整単位料金	168.33	146.78	134.16

## 2. 標準家庭における影響

(消費税込)				【参考】補助金適用前	
1ヵ月のご使用量 36m <sup>3</sup> (45MJ/m <sup>3</sup> )	2026年 1月	2026年 2月 <sup>*1</sup>	増減	2026年 2月 適用料金	補助金適用 前後の差
適用料金(円/月)	6,580	5,922	▲ 658	6,570	648

・標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(2018年度～2022年度の5ヵ年平均)に基づき算定しています。

\*1 経済産業省の「電気・ガス料金負担軽減支援事業」実施に伴い、18円/m<sup>3</sup>値引きされています。

## 3. 原料価格の変動

(円/t)			
	2025年8月～2025年10月 の平均 (1月検針分)	2025年9月～2025年11月 の平均 (2月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	79,470	79,230	▲ 240
LNG	82,880	82,650	▲ 230
LPG	78,320	77,490	▲ 830
基準平均原料価格(b)	54,870		
差額(a-b)	24,600	24,300	▲ 300

- ・ LNG 価格、LPG 価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

＜原料価格の変動による単位料金調整額の算定＞

■ 平均原料価格の算定

LNG平均原料価格(貿易統計値)	=	82,650	×0.9206
+LPG平均原料価格(貿易統計値)	=	77,490	×0.0405
<hr/>			
	=	79,225.93	
		↓(10円未満四捨五入)	
		79,230	円/t

■ 原料価格変動額の算定

79,230	円/t	－	54,870	円/t	=	24,360	円/t
↓(100円未満切捨て)							
24,300 円/t							

■ 単位料金調整額(m<sup>3</sup>あたり調整額)の算定 (補助金適用前)

単位料金調整額＝	24,300	円	/100円×0.0858 <sup>*2</sup>
(補助金適用前)			
=	20.84	円 <sup>*3</sup>	

\*2 変動額100円につき単位料金を0.0858(0.078×1.1)円調整します。

\*3 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

■ 単位料金調整額(m<sup>3</sup>あたり調整額)の算定 (補助金適用後)

単位料金調整額	=	20.84	円	－	18円	=	2.84	円
(補助金適用後)								

5. 標準家庭料金の算定方法

群馬地区

本体料金(税込)	=	基本料金(1,296.10円)			
	+	調整単位料金(125.68円)	+	2.84	円) ×36m <sup>3</sup>
		基準単位料金(税込) ↑		↑ 単位料金調整額(税込)	
	=	5,922	円		・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m<sup>3</sup>あたりの単価）を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（54,870円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m<sup>3</sup>あたり0.0858円（0.078円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が149,570円（調整上限）を超えた場合には、「平均原料価格」は149,570円としてガス料金の調整を行います。